

1. 生活機能の強化

(1) 医療

① 地域医療ネットワークの充実

【形成協定】

切れ目のない医療を適切に提供できるよう、救急医療や高度医療を担う中核病院と圏域内の各病院や診療所の役割分担と機能連携の強化、ネットワーク化を促進し、地域医療ネットワークの充実を図る。

(甲) 圏域内の医療機関の役割分担に応じた中核病院及び診療所の医療機能の維持、充実に努めるとともに、圏域内の医療機関の役割分担と機能連携の強化、ネットワーク化を促進し、地域医療ネットワークの充実を図る。

(乙) 各医療機関との連絡調整を行い、圏域内の医療機関の役割分担と機能連携の強化、ネットワーク化を促進し、地域医療ネットワークの充実を図る。

【具体的な事業】

事業名	上十三地域連携パス・ネットワーク協議会事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村					
内容	地域包括ケア推進の一環として、医療資源を効果的に活用し、圏域医療を持続的に確保するため、地域連携パスの活用による患者紹介など病院間の機能分担を図り、地域医療ネットワークの充実を図る。					
効果	がん・脳卒中等において、急性期から回復期、維持期へと病気ごとに異なる医療の役割分担、診療情報の確実な伝達と連携（情報の共有など）を強化することで、速やかで切れ目のない医療の適切な提供が図れる。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市立中央病院、十和田市 上十三地域連携パス・ネットワーク協議会の事務局を担う。 ○ 各医療機関、各市町村 上十三地域連携パス・ネットワーク協議会に参画し、圏域の各医療機関及び各市町村と連携・協力する。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費（千円）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	—————→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。）					

【取組の成果】

重要業績評価指標（KPI）	指標
	現状の体制を維持する

1. 生活機能の強化

(1) 医療

① 地域医療ネットワークの充実

協定の内容	切れ目のない医療を適切に提供できるよう、救急医療や高度医療を担う中核病院と圏域内の各病院や診療所の役割分担と機能連携の強化、ネットワーク化を促進し、地域医療ネットワークの充実を図る。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	上十三地域連携パス・ネットワーク協議会事業	事業番号	1			
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村					
内容	地域包括ケア推進の一環として、医療資源を効果的に活用し、持続的な地域医療を確保するとともに、上十三地域連携パス・ネットワーク協議会を活用した患者紹介など病院間の機能分担や連携を強化し、地域医療ネットワークの充実を図る。					
効果	病気ごとに異なる医療機関の役割分担や診療情報の確実な伝達と連携を強化することで、急性期から回復期、維持期へと速やかで切れ目のない医療の適切な提供が可能となる。					
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
活用を想定する補助制度等						
特記事項						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標
	現状の体制を維持する

【形成協定】

救急医療や高度医療を担う中核病院及び診療所の運営体制の充実に努める。

- (甲) 圏域内の医療機関の役割分担に応じた中核病院及び診療所の医療機能の維持、充実に努める。
- (乙) 乙と隣接する甲の区域の診療所の運営に応分の負担をするとともに、甲と連携して、診療所の適切な利用に関する乙の住民への普及啓発に努める。

【具体的な事業】

事業名	十和田湖診療所運営事業					
関係市町村	十和田市、小坂町					
内容	地域医療の身近な窓口として、安心した住民生活に欠かせない一次医療を担う十和田湖診療所の管理運営を行うにあたり、運営経費を負担し、運営の安定化を図る。					
効果	十和田湖地域の一次医療を担う十和田湖診療所の安定的な運営を確保することで、地域全体の地域医療提供体制の維持・充実が図られる。					
関係市町村の役割分担	<p>○ 十和田市 十和田湖診療所の運営を行うとともに、当該診療所の医療提供体制の維持・充実に努める。</p> <p>○ 小坂町 十和田市と連携して、当該診療所の医療提供体制の維持・充実に努める。</p>					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	43,906	43,906	43,906	43,906	43,906	219,530
活用を想定する補助制度等	青森県へき地診療所運営費補助金 診療所運営事業債（令和2年度までの予定）					
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H29実績)	目標値 (R4)
		診療日数 (日/週)	2日/週

協定の内容	救急医療や高度医療を担う中核病院及び診療所の運営体制の充実に努める。
-------	------------------------------------

【具体的な事業】

事業名	十和田湖診療所運営事業					事業番号	2
関係市町村	十和田市、小坂町						
内容	十和田湖畔地域の生活に欠かせない一次医療を担う十和田湖診療所の管理運営を通じて、地域医療の安定化を図る。						
効果	十和田湖診療所の安定的な運営を確保することで、十和田湖畔地域の充実した医療提供体制が確保される。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	41,469	41,469	41,469	41,469	41,469	207,345	
活用を想定する補助制度等	青森県へき地診療所運営費補助金 診療所運営事業債						
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	診療日数	3日/週	3日/週

(2) 福祉

① 子育て支援の充実

【形成協定】

子育て支援に関する事業の広域利用を推進し、圏域の住民の利用を可能にし、圏域全体の子育て支援サービスの充実を図る。

- (甲) 甲が実施する子育て支援に関する事業について、効果的な体制の検証を行いつつその対象区域を拡大し、乙の住民の利用に供し、圏域全体の子育て支援サービスの向上を図る。
- (乙) 甲が実施する子育て支援に関する事業について、広域的な利用が円滑に行われるよう乙の住民に対し情報提供及び広報等に努めるとともに、運営について必要な支援等を行う。

【具体的な事業】

事業名	病児・病後児保育事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、病児・病後児（概ね 10 歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）保育事業について、各市町村で実施する事業の充実に努めつつ、関係市町村の住民に対象を広げ、広域利用の推進を図る。					
効果	圏域内の子育て支援サービスの充実とともに、安心して子育てができる環境の拡充に繋がる。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市及び三沢市 効果的な体制の検証を行いつつ当該事業の広域利用を推進し、関係市町村の住民の利用に供する。 ○ 関係町村 各市町村で実施する事業の充実に努めつつ、広域利用が円滑に行われるよう、情報提供及び広報等に努めるとともに、運営について必要な支援等を行う。 					
事業計画	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	計
	41,982	41,982	41,982	41,982	41,982	209,910
活用を想定する補助制度等	青森県保育対策等促進事業費補助金					
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	実施市町村以外のサービス 利用者数（人）	377 人	380 人

(2) 福祉

① 子育て支援の充実

協定の内容	子育て支援に関する事業の広域利用を推進し、圏域の住民の利用を可能にし、圏域全体の子育て支援サービスの充実を図る。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	病児・病後児保育事業	事業番号	3			
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町					
内容	病児・病後児保育事業の内容や利用対象者の拡充を図るとともに、適切な情報発信に努めることで、広域利用を推進する。					
効果	圏域内における子育て支援サービスの充実を図ることで、安心して子育てができる環境が確保される。					
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
事業費 (千円)	81,687	81,687	81,687	81,687	81,687	計 408,435
活用を想定する補助制度等	青森県地域子ども・子育て支援事業費補助金					
特記事項						

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	実施市町村以外のサービス利用者数	272人/年	280人/年

事業名		ファミリーサポートセンター事業の研究・検討				
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	地域において、子育ての支援を受けたい方と支援ができる方を会員登録することで、会員同士で助け合う子育て支援事業「ファミリーサポートセンター事業」に関し、対象を関係市町村の住民に拡大することについて、効果的な実施方法の研究を行い、段階的に広域利用を推進する。					
効果	ファミリーサポートセンター事業を合同で実施することにより、事業の普及啓発や会員の拡大が期待される。また、圏域内で安心して子育てができる環境を提供することができる。					
関係市町村の役割分担	<p>○ 十和田市及び三沢市 当該事業の対象区域を拡大し、関係市町村の住民の利用に供することについて、関係市町村と効果的な実施方法の研究を行い、実施可能なものから順次、広域利用を推進する。</p> <p>○ 関係町村 十和田市及び三沢市と連携して、効果的な実施方法の研究を行い、実施可能なものから順次、広域利用を推進する。</p>					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	段階的に広域利用を推進					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	7,590	7,590	7,590	7,590	7,590	37,950
活用を想定する補助制度等	青森県子育て支援特別対策事業費補助金					
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
		広域利用実施体制の整備	未実施

協定の内容	子育て支援に関する事業の広域利用を推進し、圏域の住民の利用を可能にし、圏域全体の子育て支援サービスの充実を図る。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	ファミリーサポートセンター事業					事業番号	4
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	ファミリーサポートセンター事業の効果的な実施方法の研究・検討を行うとともに、段階的に利用対象を拡大する等、広域利用を推進する。						
効果	ファミリーサポートセンター事業の広域利用を推進することで、安心して子育てができる環境が確保される。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	→	
事業費 (千円)	7,883	7,883	7,883	7,883	7,883		計 39,415
活用を想定する補助制度等	青森県地域子ども・子育て支援事業費補助金						
特記事項							

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	広域利用の依頼があった際の受け入れ率	—	100%

【形成協定】

圏域における子育て支援を充実させるため、保育所の広域入所を推進する。

(甲) 保育所の保育サービスの維持、充実を図るとともに、乙と隣接する甲の区域の保育所の広域入所に関する連携に取り組む。

(乙) 乙と隣接する甲の区域の保育所の運営に応分の負担をするとともに、甲と連携して、保育所の適切な利用に関する乙の住民への普及啓発に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	保育所広域入所に関する連携					
関係市町村	十和田市、小坂町					
内容	隣接する区域において、児童の住居地以外の保育所の広域入所を推進する。					
効果	児童の受入体制の充実により、保護者の仕事と育児の両立が図られ、子育てに対する不安が解消されるとともに、利用者の利便性が向上する。					
関係市町村の役割分担	それぞれの保育環境整備に努め、他自治体の保育所への入所児童数に応じた経費を負担する。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	3,283	3,283	3,283	3,283	3,283	16,415
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
	保育所広域入所の届出があった際の受け入れ率		100%

協定の内容	圏域における子育て支援を充実させるため、保育所の広域入所を推進する。
-------	------------------------------------

【具体的な事業】

事業名	保育所広域入所に関する連携					事業番号	5
関係市町村	十和田市、小坂町						
内容	保育環境の整備を図るとともに、児童の住居地以外の保育所への広域入所を推進する。						
効果	児童の受入体制を充実することで、保護者の仕事と育児を両立できる環境が確保されるとともに、子育てに対する不安の解消と利便性向上が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	—————→						
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	保育所広域入所の届出があった際の受け入れ率	—	100%

② 介護認定審査会及び障害者介護給付等審査会業務の連携

【形成協定】

介護保険法に規定する介護認定審査及び障害者総合支援法に規定する障害支援区分の審査判定の公平性及び効率性を確保するため、審査業務を共同で実施する。

(甲) 介護認定審査会及び障害者介護給付等審査会（以下「審査会」という。）を乙と共同で設置し、運営に必要な経費を負担する。

(乙) 審査会を甲と共同で設置し、運営に必要な経費を負担する。

【具体的な事業】

事業名	介護認定審査会事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村					
内容	介護が必要な高齢者等が必要な介護サービスを受けることができるよう要介護等の認定を行う認定審査会業務を上北地方教育・福祉事務組合で行う。					
効果	認定審査会業務の運営の効率化と審査判定結果の迅速化を図り、公正・適正な事務を確保することができる。					
関係市町村の役割分担	上北地方教育・福祉事務組合への負担金を支出する。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	77,477	77,477	77,477	77,477	77,477	387,385
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
		認定審査件数 (件)	9,381件

② 介護認定審査会及び障害者介護給付等審査会業務の連携

協定の内容	介護保険法に規定する介護認定審査及び障害者総合支援法に規定する障害支援区分の審査判定の公平性及び効率性を確保するため、審査業務を共同で実施する。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	介護認定審査会事業					事業番号	6
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村						
内容	上北地方教育・福祉事務組合において、要介護等の認定などに係る審査業務を行う。						
効果	公正・適正な介護サービス事務を確保するとともに、審査業務の効率化と迅速化が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	64,909	64,909	64,909	64,909	64,909	324,545	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標
	公平性・効率性を確保し、現状の体制を維持する

事業名	障害者介護給付等審査会事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村					
内容	障害者が障害特性に応じて必要な障害福祉サービスを受けることができるよう障害支援区分の審査判定を上北地方教育・福祉事務組合で行う。					
効果	認定審査会業務の運営の効率化と審査判定結果の迅速化を図り、公正・適正な事務を確保することができる。					
関係市町村の役割分担	上北地方教育・福祉事務組合への負担金を支出する。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	8,085	8,085	8,085	8,085	8,085	40,425
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
	審査判定件数 (件)	361件	公平性・効率性を確保し、現状体制を維持

協定の内容	介護保険法に規定する介護認定審査及び障害者総合支援法に規定する障害支援区分の審査判定の公平性及び効率性を確保するため、審査業務を共同で実施する。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	障害者介護給付等審査会事業					事業番号	7
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村						
内容	上北地方教育・福祉事務組合において、障害支援区分の判定などに係る審査業務を行う。						
効果	公正・適正な障害福祉サービス事務を確保するとともに、審査業務の効率化と迅速化が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
							
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	6,012	6,012	6,012	6,012	6,012	30,060	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標
	公平性・効率性を確保し、現状の体制を維持する

③ 成年後見制度の利用促進

【形成協定】

成年後見制度の利用の促進に関する取組を連携して実施する。

(甲) 乙と連携して、圏域内における成年後見制度の利用の促進に関する取組を中心的に行うとともに、必要な経費を負担する。

(乙) 甲と連携して、成年後見制度の利用の促進に関する取組を行うとともに、必要な経費を負担する。

【具体的な事業】

事業名	権利擁護支援事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関との連携強化を図りながら、相談支援、市民後見人の養成やその活動支援などに係る体制を構築する。 ○ 成年後見制度の利用促進のための情報交換及び関係機関の連携に関することなどの協議の場である連絡会を設置する。 					
効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民後見人を確保することができる。 ○ 連絡会の開催により、家庭裁判所及び関係機関との効率的・効果的な連携が図られる。 					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市及び三沢市 圏域における成年後見等実施機関に関する体制の調整・構築を行い、連絡会を開催する。 ○ 関係町村 成年後見制度の利用促進について、中心市と連携を行う。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
				15,044	15,044	30,088
活用を想定する補助制度等	青森県福祉・介護人材確保対策事業費補助金					
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (R2実績)	目標値 (R4)
	圏域における市民後見人登録者数	5人	15人

③ 成年後見制度の利用促進

協定の内容	成年後見制度の利用の促進に関する取組を連携して実施する。
-------	------------------------------

【具体的な事業】

事業名	権利擁護支援事業					事業番号	8
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村						
内容	成年後見制度の利用促進に係る連絡会を設置し、関係機関との連携を強化するとともに、市民後見人の養成やその活動に対する支援を充実させる。						
効果	家庭裁判所をはじめとする関係機関との効果的・効率的な連携が図られるとともに、市民後見人の確保により、制度の利用促進が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
							
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	16,707	16,707	16,707	16,707	16,707	83,535	
活用を想定する補助制度等	青森県介護従事者確保対策事業費補助金						
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	圏域における市民後見人登録者数	16人	25人

④ 医療的ケア児支援のための連携推進

【形成協定】

人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児（以下「医療的ケア児」という。）が、その心身の状況に応じて適切な支援を受けられるよう、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の各関連分野の連携の推進を図る。

(甲) 乙と連携して、圏域内の医療的ケア児の支援体制の整備に中心的に取り組むとともに、必要な経費を負担する。

(乙) 甲と連携して、圏域内の医療的ケア児の支援体制の整備に取り組むとともに、必要な経費を負担する。

【具体的な事業】

事業名	医療的ケア児支援連携推進事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村					
内容	○ 医療的ケア児に関わる関係機関等が連携を図るための協議の場を設ける。 ○ 医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置等について検討を行う。					
効果	関係市町村及び関係機関との総合的な連携体制の下、社会資源等の効率的な活用が図られ、圏域内の医療的ケア児が適切な支援を受けることができる。					
関係市町村の役割分担	○ 十和田市及び三沢市 関係機関等による協議の場を設け、医療的ケア児の支援に関する総合的な連携体制の構築を図るとともに、コーディネーターの配置等について研究・調査を行う。 ○ 関係町村 中心市と連携して、協議の場を運営するとともに、コーディネーターの配置等について研究・調査を行う。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				→		
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
				220	220	440
活用を想定する補助制度等	地域生活支援事業費等補助金					
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (R2実績)	目標値 (R4)
	医療的ケア児支援のための協議の場の開催回数	0回	年3回

④ 医療的ケア児支援のための連携推進

協定の内容	人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児（以下「医療的ケア児」という。）が、その心身の状況に応じて適切な支援を受けられるよう、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の各関連分野の連携の推進を図る。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	医療的ケア児支援連携推進事業					事業番号	9
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村						
内容	医療的ケア児とその家族等の社会的自立に向け、関係機関等と連携を図りながら、コーディネーターの配置等による支援体制を構築する。						
効果	総合的な連携体制を構築することで、社会資源等の効率的な活用が図られ、圏域内の医療的ケア児とその家族等が切れ目のない適切な支援を受けられる環境が確保される。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	230	230	230	230	230	1,150	
活用を想定する補助制度等	地域生活支援事業費等補助金						
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	医療的ケア児支援のための 会議の開催回数	2回/年	2回/年
	医療的ケア児に対するコー ディネーター配置率	—	100%

(3) 教育

① 図書館の相互利用の促進

【形成協定】

圏域内の図書館の相互利用に取り組み、圏域の住民の文化と教養の向上を図る。また、図書館資料の情報等の共有化を図り、圏域の住民が利用しやすい図書館サービスを推進する。

- (甲) 乙と連携して、圏域内の図書館における情報等の共有化に取り組み、圏域の住民に対する図書館サービスの充実及び向上を図るとともに、取組の調整を行う。
- (乙) 甲と連携して、圏域内の図書館における情報等の共有化に取り組み、圏域の住民に対する図書館サービスの充実及び向上を図る。

【具体的な事業】

事業名	図書館相互利用促進事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、圏域住民に対し、圏域内での図書館において、それぞれの市町村の住民と同一の基準で所蔵資料の館外貸出を行うこと等、圏域の住民が利用しやすい図書館閲覧環境を構築する。 ○ 引き続き、関係市町村の図書館ホームページにリンクを張る等、圏域の図書館情報を住民に提供する。 					
効果	圏域内の図書館を広域利用しやすい環境を整備することで、圏域住民の図書館利用促進及び学習環境の向上が図られる。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市及び三沢市 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の連携強化に関する総合的な調整を行う。 ・ 圏域の図書館情報を住民に提供する。 ○ 関係町村 <ul style="list-style-type: none"> ・ 十和田市及び三沢市と連携して、図書館の連携強化に取り組む。 ・ 圏域の図書館情報を住民に提供する。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	19,587	19,587	19,587	19,587	19,587	97,935
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
		相互利用件数 (件)	512 件

(3) 教育

① 図書館の相互利用の促進

協定の内容	圏域内の図書館の相互利用に取り組み、圏域の住民の文化と教養の向上を図る。 また、図書館資料の情報等の共有化を図り、圏域の住民が利用しやすい図書館サービスを推進する。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	図書館相互利用促進事業					事業番号	10
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	各図書館において基本的な蔵書に努めるほか、中心市の図書館においては幅広い分野の蔵書の充実を図り、図書館資料等の情報を共有することにより、効果的・効率的な蔵書の充実に努める。 居住地以外の図書館の利用方法を周知することで、図書館の相互利用を推進する。						
効果	圏域全体の図書館サービスを充実することで、図書館の利用促進と学習環境の向上が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	30,260	30,260	30,260	30,260	30,260	151,300	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

	指標	現状値	目標値
重要業績評価指標 (KPI)	相互利用累計件数	2,429 件	3,450 件
	中心市からの貸出数	142 冊/年	200 冊/年

事業名	図書館蔵書充実事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	○ 圏域の拠点となる図書館は、幅広い蔵書の充実に努める。 ○ 圏域内の他の図書館は、基本的な蔵書の充実に努める。					
効果	拠点図書館を核として、圏域内全体として、蔵書の質・量を充実することで、 圏域住民の相互利用促進が図られる。					
関係市町村 の役割分担	○ 十和田市及び三沢市 中心市として幅広い蔵書の充実に努める。 ○ 関係町村 基本的な蔵書の充実に努める。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	40,453	40,453	40,453	40,453	40,453	202,265
活用を想定 する補助制 度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、 詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
	図書館利用者数(人)	154,119人	163,120人

(統合)

② 生涯学習情報の提供

【形成協定】

圏域内の各市町村が実施する各種講座等の開催情報を相互に提供し合う体制を構築し、圏域内の教育、学術、文化、スポーツ、福祉等の多様な生涯学習の機会の充実を図る。

(甲) 乙と連携して、圏域内の生涯学習機会情報を相互に交換し、甲の住民への周知を行う。

(乙) 甲と連携して、圏域内の生涯学習機会情報を相互に交換し、乙の住民への周知を行う。

【具体的な事業】

事業名	生涯学習情報提供事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	各市町村が実施している各種講座等について、圏域内の情報を収集・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページなどの広報媒体を活用して地域住民への周知する体制を構築する。					
効果	生涯学習情報を圏域で共有することにより、圏域住民の選択肢が広がり学習機会の充実が図られる。また、圏域住民同士の交流が促進される。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三沢市 三沢市が中心となり、関係市町村が実施する各種講座等の開催情報を取りまとめて、圏域の生涯学習情報として関係市町村に提供する。 ○ 関係市町村 それぞれが実施する各種講座情報を三沢市に提供するとともに、三沢市から提供された各種講座情報を住民に周知する。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	圏域間の情報共有を図り、相互提供体制を構築					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。(新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。)					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
	構成市町村のHP上で圏域内の生涯学習情報を提供	未実施	HPで随時情報提供

② 生涯学習情報の提供

協定の内容	圏域内の各市町村が実施する各種講座等の開催情報を相互に提供し合う体制を構築し、圏域内の教育、学術、文化、スポーツ、福祉等の多様な生涯学習の機会の充実を図る。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	生涯学習情報提供事業					事業番号	11
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	ウェブサイトなどを活用し、圏域内における各種講座等の情報を共有する体制を整備する。						
効果	生涯学習の機会の充実や地域間の交流促進が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	—————→						
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	関係市町村の生涯学習情報の提供	未実施	ウェブサイトや窓口で 随時情報提供

③ 英語教育の充実

【形成協定】

国際性に立った広い視野とともに、豊かな人間性とコミュニケーション能力に富んだ人材育成を図るため、質の高い英語教育を推進するための調査・研究に取り組む。

- (甲) 乙と連携して、小学校外国語活動や中学校外国語（英語）科におけるより効果的な指導法や指導体制等に関する調査・研究のための取組を行う。
- (乙) 甲と連携して、小学校外国語活動や中学校外国語（英語）科におけるより効果的な指導法や指導体制等に関する調査・研究のための取組を行う。

【具体的な事業】

事業名	英語教育推進事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校における英語教育の充実を図るため、英語指導方法に関する研究会や教員の英語力向上を目指した研修会を開催する。 ○ 小中の接続を効果的に行うために、英語教育カリキュラム等に関する調査・研究を行う。 ○ 生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成と表現力の向上を図るために、英語スピーチコンテストを開催する。 					
効果	地域資源を活用した、特色のあるより実践的な研修等が可能となり、圏域全体における英語教育の質的向上が図られる。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三沢市 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係市町村と連携し、英語教育に関する調査・研究活動を行う。 ・ 関係市町村と連携し、合同で開催可能な研修等の企画・調整を行う。 ・ 調査・研究活動で得られた知見等の普及に取り組む。 ○ 関係市町村 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三沢市と連携し、英語教育に関する調査・研究活動を行う。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	2,974	2,974	2,974	2,974	2,974	14,870
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

	指標	現状値 (H28 実績)	目標値 (R4)
重要業績 評価指標 (KPI)	「小・中学校英語研修講座 講演会」参加者数	21人	35人
	「英語活動科授業研究会」 参加者数	30人	40人

③ 英語教育の充実

協定の内容	国際性に立った広い視野とともに、豊かな人間性とコミュニケーション能力に富んだ人材育成を図るため、質の高い英語教育を推進するための調査・研究に取り組む。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	英語教育推進事業					事業番号	12
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	英語教育の指導体制や教員の英語力向上を目指した研修会を実施するとともに、英語教育カリキュラム等に関する調査・研究を行う。						
効果	地域資源を活用した特色のある実践的な英語教育が可能となる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	111	111	111	111	111	555	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	英語教育について理解が深まった教員の割合	—	80%

④ 教育事務の委託

【形成協定】

教育サービスを効果的かつ効率的に実施するため、教育事務を連携して行う。

(甲) 乙からの委託を受け、甲と隣接する乙の区域の教育事務を行う。

(乙) 甲と隣接する乙の区域の教育事務を甲に委託する。

【具体的な事業】

事業名	教育事務の委託					
関係市町村	十和田市、小坂町					
内容	県境を越えて隣接する区域における関係町の教育事務について、中心市が委託を受けて処理する。					
効果	圏域における教育サービスを効果的かつ効率的に実施することが可能になる。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市 小坂町の委託を受け、隣接する区域における教育事務を行う。 ○ 小坂町 隣接する区域における教育事務を十和田市に委託する。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	—————→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。(新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。)					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H27実績)	目標値 (R4)
		教育事務の委託の届出があった際の受け入れ率	100%

④ 教育事務の委託

協定の内容	教育サービスを効果的かつ効率的に実施するため、教育事務を連携して行う。
-------	-------------------------------------

【具体的な事業】

事業名	教育事務の委託					事業番号	13
関係市町村	十和田市、小坂町						
内容	隣接する区域の教育事務を連携して行う。						
効果	効果的・効率的な教育サービスの提供が可能となる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————▶						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	—————▶						
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標
	現状の体制を維持する

(4) 産業振興

① 広域観光の推進

【形成協定】

圏域内に存在する観光資源の魅力を活かした広域的な観光ルートの設定を行うとともに、情報発信等を行う。

(甲) 乙、観光産業に関わる民間企業及び関係団体と連携して、圏域内に存在する様々な観光資源の魅力を活かした広域的な観光ルートの設定を行うとともに、情報発信等を行う。

(乙、観光産業に関わる民間企業及び関係団体と連携して、東北新幹線七戸十和田駅及び周辺施設を活用しつつ、圏域内に存在する様々な観光資源の魅力を活かした広域的な観光ルートの設定を行うとともに、情報発信等を行う。 ※共同中心市⇄七戸町)

(乙) 甲、観光産業に関わる民間企業及び関係団体と連携して、圏域内に存在する様々な観光資源の魅力を活かした広域的な観光ルートの設定を行うとともに、情報発信等を行う。

(甲、観光産業に関わる民間企業及び関係団体と連携して、圏域内に存在する様々な観光資源の魅力を活かした広域的な観光ルートの設定を行うとともに、情報発信等を行い、東北新幹線七戸十和田駅及び周辺施設の利用促進を図る。 ※共同中心市⇄七戸町)

【具体的な事業】

事業名	広域観光振興推進事業
関係市町村	全市町村
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上十三・十和田湖広域定住自立圏観光推進協議会において、圏域全体としての広域的な観光情報の発信について検討・実施・検証する。 ○ 観光情報の共有など各市町村の連携を強化するとともに、観光情報の発信にあたっては、周遊観光の促進、インバウンド対策に繋がる施策を実施する。 ○ 圏域内の既存の観光資源を磨き上げるとともに、新たな観光資源の発掘等にも努め、それらを有効活用することで交流人口の増加を図る。
効果	<p>広域的な観光情報の発信を行うことにより、当圏域内での観光客の周遊性を高め、当圏域が旅行先として選ばれる機会の増加及び当圏域内での滞在時間の延長が図られる。また、圏域内の交流人口の増加により地域内消費額の増加が図られる。</p>
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市 関係市町村及び関係機関と連携して、以下の取組を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域内に存在する様々な観光資源を積極的に活用した広域観光ルートの設定を行うとともに、圏域内の交通移動手段及び経路をわかりやすく周知するなど、観光客が周遊しやすい環境づくりを行う。 ・ 東北新幹線七戸十和田駅をはじめとする圏域内の主要駅や三沢空港などの交通拠点及び観光施設等に加え、圏域外の近隣交通拠点等を活用し、観光情報の発信を行う。 ・ 新たな観光資源等の発掘に努める。 ○ 関係市町村 十和田市、関係市町村及び関係機関と連携して、以下の取組を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域内に存在する様々な観光資源を積極的に活用した広域観光ルートの設定を行うとともに、圏域内の交通移動手段及び経路をわかりやすく周知するなど、観光客が周遊しやすい環境づくりを行う。 ・ 東北新幹線七戸十和田駅をはじめとする圏域内の主要駅や三沢空港などの交通拠点及び観光施設等に加え、圏域外の近隣交通拠点等を活用し、観光情報の発信を行う。 ・ 新たな観光資源等の発掘に努める。

(4) 産業振興

① 広域観光の推進

協定の内容	圏域内に存在する観光資源の魅力を活かした広域的な観光ルートの設定を行うとともに、情報発信等を行う。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	広域観光振興推進事業	事業番号	14			
関係市町村	全市町村					
内容	上十三・十和田湖広域定住自立圏観光推進協議会において、既存の観光資源の磨き上げや新たな資源の掘り起こしを行いながら、広域的な観光を展開する。主要な交通拠点や観光施設等を活用するとともに、効果的な情報発信により、周遊観光の促進やインバウンド対策につながる施策を実施する。					
効果	圏域内における観光客の周遊性が向上することで、旅行先として選ばれる機会が増加するとともに、滞在時間の延長、圏域内の交流人口の増加に加え、地域内消費額の増額が図られる。					
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	—————→					
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
	—————→					
活用を想定する補助制度等	青森県元気な地域づくり支援事業費補助金					
特記事項						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	圏域市町村の観光入込客数	5,307,828人/年 (R2実績)	8,300,000人/年

事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————▶					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	22,000
活用を想定する補助制度等	青森県未来を変える元気事業費補助金					
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H27)	目標値 (R4)
		圏域市町村の観光入込客数(人)	7,778,246人

事業名	十和田湖観光誘客事業					
関係市町村	十和田市、小坂町					
内容	十和田湖畔地区は、青森県・秋田県の県境に位置している観光地であることから、十和田市と小坂町が連携し、同地区で開催されるイベントに対する支援や豊かな自然を活かしたメニューの提供などの観光振興策を一体となって実施することで、効果的な誘客促進を図る。					
効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光誘客策の一元化による効率的な観光推進事業の展開が可能となる。 ○ 十和田湖周辺地域を含めた集客力が高まる。 ○ 地域における滞在時間の増加及び宿泊客の増加を促し、観光振興に寄与することができる。 					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市 小坂町と連携し、湖畔地区で開催されるイベントについて企画立案の助言や協調補助を行う等の支援をするほか、自然を活かした体験メニューの提供等に関する費用負担を行う。 ○ 小坂町 十和田市と連携し、湖畔地区で開催されるイベントについて企画立案の助言や協調補助を行う等の支援をするほか、自然を活かした体験メニューの提供等に関する費用負担を行う。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	13,213	13,213	13,213	13,213	13,213	66,065
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H27)	目標値 (R4)
	十和田湖への観光入込客数(人)	1,092,651人	1,170,000人

協定の内容	圏域内に存在する観光資源の魅力を活かした広域的な観光ルートの設定を行うとともに、情報発信等を行う。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	十和田湖観光誘客事業					事業番号	15
関係市町村	十和田市、小坂町						
内容	十和田湖畔地域で開催されるイベントに対する支援や豊かな自然を活かした各種メニューの提供などの観光振興策に取り組む。						
効果	観光誘客策の一元化による効率的な事業を展開することで、滞在時間の延長と宿泊客の増加が促され、観光振興が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	13,306	13,306	13,306	13,306	13,306	66,530	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	十和田湖への観光入込客数	619,564 人/年	1,360,000 人/年

② 特産品の販路拡大

【形成協定】

圏域内の特産品（農産物、水産物、畜産物等）に関する情報を相互に提供し合い、関係団体等と連携し、圏域の特産品の販売戦略を展開するとともに、これらを活用した地域ブランド化の推進を図る。

- (甲) ア 圏域内の特産品の情報を収集し、乙とともに広くPRを行う。
 イ 圏域内外で実施されるイベント、物産展等に関する情報を乙に提供し、乙とともにPRや販路拡大に取り組む。
- (乙) ア 乙の区域内で産出される特産品の情報を甲に提供し、甲とともに広くPRを行う。
 イ 圏域内外で実施されるイベント、物産展等に関する情報を甲に提供し、甲とともにPRや販路拡大に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	特産品の販路拡大事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	圏域の特産物（農産物・畜産物・水産物等）に関する情報を相互に提供し合い、これらの特産物の販路拡大を図っていく。 また、圏域内の特産物等による地域ブランド化を推進する。					
効果	これまで個々の市町村で行っていた、販路拡大を圏域として連携して行うことにより、新たな商品開発や新規地域への販路が拡大され、産業振興が図られる。					
関係市町村の役割分担	○ 全市町村 <ul style="list-style-type: none"> 各市町村の特産物の販売拡大事業を相互に連携しつつ行う。 圏域内外で実施されるイベント、物産展等に関する情報を相互に情報共有し、PRや販路拡大に取り組む。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	→
	—————					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	16,500
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
	特産品開発セミナー参加者数 (人/回)	43人/回	80人/回
	販路拡大イベントの来場者数 (人)	50,700人	61,600人
	販路拡大イベントの売上 (千円)	7,985千円	11,220千円

② 特産品の販路拡大

協定の内容	圏域内の特産品（農産物、水産物、畜産物等）に関する情報を相互に提供し合い、関係団体等と連携し、圏域の特産品の販売戦略を展開するとともに、これらを活用した地域ブランド化の推進を図る。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	特産品の販路拡大事業					事業番号	16
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	圏域内の特産品に関する情報を共有し、イベント等を活用してPRや販路の拡大に取り組むとともに、地域ブランド化を推進する。						
効果	特産品のPRを連携して行うことで、宣伝効果の向上に加え、販路の拡大が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	—————→						
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	各市町村が作成する多様なPR素材への圏域情報の掲載回数	未実施	9回/年

(5) 防災・消防

① 防災

【形成協定】

大規模災害時における相互応援体制を含め圏域内の防災体制の整備、充実を図るため、防災計画・防災訓練等の情報を共有し、職員を対象とする合同研修や訓練等を実施する。

(甲)ア 大規模災害時における相互応援体制を含め圏域内の防災計画・防災訓練等の情報の共有に向けて連絡調整を行う。

イ 乙と連携して、圏域内の職員の合同研修や訓練等を実施する。

(乙)ア 大規模災害時における相互応援体制を含め圏域内の防災計画・防災訓練等の情報の共有に向けて甲に情報を提供する。

イ 甲と連携して、圏域内の職員の合同研修や訓練等を実施する。

【具体的な事業】

事業名	防災体制整備・地域防災計画等の情報共有等					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	○ 大規模災害時における相互応援体制を含め圏域内の防災計画等の情報の共有を図る。 ○ 圏域市町村間で協議の上、段階的に合同研修等を実施する。					
効果	災害時における相互応援体制を構築することにより、圏域内での防災体制の充実を図る。					
関係市町村の役割分担	○ 十和田市及び三沢市 ・ 大規模災害時における相互応援体制を含め圏域内の防災計画・防災訓練等の情報共有に向けて連絡調整を行う。 ・ 合同研修等の実施について中心的に取り組む。 ○ 関係町村 ・ 大規模災害時における相互応援体制を含め圏域内の防災計画・防災訓練等の情報共有に向けて十和田市及び三沢市へ情報提供を行う。 ・ 十和田市及び三沢市と連携して合同研修等を実施する。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	701	701	701	701	701	3,505
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

	指標	現状値 (H28)	目標値 (R4)
重要業績 評価指標 (KPI)	防災訓練等の見学会回数 (回)	2回	4回
	合同研修等の回数(回)	未実施	1回

(5) 防災・消防

① 防災

協定の内容	大規模災害時における相互応援体制を含め圏域内の防災体制の整備、充実を図るため、防災計画・防災訓練等の情報を共有し、職員を対象とする合同研修や訓練等を実施する。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	防災体制整備・地域防災計画等の情報共有等					事業番号	17
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	防災計画等の共有や合同研修等の実施により、相互応援体制を構築する。						
効果	圏域内における防災体制の充実が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
							
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	918	918	918	918	918	4,590	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	防災訓練等の見学会回数	1回/年	4回/年
	合同研修等の回数	未実施	1回/年

【形成協定】

隣接する区域における消防出動について、相互応援体制を構築し、到着時間の短縮及び効率的な部隊運用により初動体制の強化を図る。

- (甲) 甲と隣接する乙の区域で火災等が発生した場合、応援出動をする。
- (乙) 乙と隣接する甲の区域で火災等が発生した場合、応援出動をする。

【具体的な事業】

事業名		災害時の消防出動相互応援事業					
関係市町村	十和田市、小坂町						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防相互応援出動 各消防本部管轄区域において相互応援出動による効果が期待できる地域(以下、「応援地域」)について、相互応援出動する。 ○ 情報交換等 応援地域の実態を把握するため、必要な情報交換を行う。 						
効果	災害現場への到着時間の短縮と出動車両の増強により、被害の軽減が図られる。						
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小坂町の応援地域で火災等が発生し、管轄消防本部からの要請又は火災通報を受信した場合は、応援出動する。 ・ 小坂町と応援出動体制に必要な情報交換等を行う。 ○ 小坂町 <ul style="list-style-type: none"> ・ 十和田市と応援出動体制に必要な情報交換等を行う。 						
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計	
	 応援出動及び情報交換等						
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計	
							
活用を想定する補助制度等							
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28)	目標値 (R4)
	要請があった場合の出動率 (%)	100%	100%

協定の内容	隣接する区域における消防出動について、相互応援体制を構築し、到着時間の短縮及び効率的な部隊運用により初動体制の強化を図る。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	災害時の消防出動相互応援事業					事業番号	18
関係市町村	十和田市、小坂町						
内容	地域の実態把握に努めながら、必要に応じて相互応援出動を行う。						
効果	災害現場への到着時間の短縮や出動車両の増強が図られ、被害の軽減につながる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		計
	74,176	74,176	74,176	74,176	74,176	370,880	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	要請があった場合の出動率	100%	100%

② 消防

【形成協定】

消防施設等の効率的な運用を図るため、消防指令業務共同事業を実施する。

- (甲) 乙と連携して、圏域内における消防指令業務の効率的な運用を行う。
 (乙) 甲と連携して、圏域内における消防指令業務の効率的な運用を行う。

【具体的な事業】

事業名	消防指令業務共同運用等事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村					
内容	圏域における効果的な消防指令業務の共同運用について、更なる調査・検討を継続して実施する。					
効果	消防・救急業務の基盤整備と効率的な運営により、圏域の消防・救急サービスが向上し、住民の安全・安心が確保される。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市及び三沢市 圏域内の消防指令業務の共同運用について、「上十三地域4消防本部消防通信指令事務協議会」において検討し、関係市町村と共同で取り組む。 ○ 関係町村 圏域内の消防指令業務の共同運用について、「上十三地域4消防本部消防通信指令事務協議会」において検討し、十和田市及び三沢市と共同で取り組む。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	調査・検討及び情報交換等を行う					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。 (新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。)					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標

② 消防

協定の内容	消防施設等の効率的な運用を図るため、消防指令業務共同事業を実施する。
-------	------------------------------------

【具体的な事業】

事業名	消防指令業務共同運用等事業					事業番号	19
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村						
内容	上十三地域4消防本部消防通信指令事務協議会において、消防施設等の共同運用について調査・研究を行い、指令業務の効率化を図る。						
効果	消防・救急業務の基盤整備と効率的な運用により、消防・救急サービスの向上につながる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	74,176	74,176	74,176	74,176	74,176	370,880	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標
	消防指令業務の共同体制を維持する

(6) ライフライン

【形成協定】

効果的かつ効率的な簡易水道の運営を図るため、共同利用に関する研究・検討を行う。

(甲) 乙と連携して、甲と隣接する乙の区域における簡易水道の共同利用に関する研究・検討を行う。

(乙) 甲と連携して、乙と隣接する甲の区域における簡易水道の共同利用に関する研究・検討を行う。

【具体的な事業】

事業名	簡易水道の共同利用					
関係市町村	十和田市、小坂町					
内容	効果的かつ効率的な簡易水道の運営を図るため、共同利用に関する研究・検討を行い、広域的な利用に向けた取組を推進する。					
効果	隣接する区域で同様の施設を個々に補修する重複投資を避け、大幅なコストカットが可能となる。					
関係市町村の役割分担	水道施設が老朽化した地区の補修時期を見据えて、相互に連携して、簡易水道の共同利用に関する研究・検討を行い、広域的な利用に向けた取組を推進する。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。(新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。)					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標
	現状の体制を維持する

(6) ライフライン

協定の内容	効果的かつ効率的な簡易水道の運営を図るため、共同利用に関する研究・検討を行う。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	簡易水道の共同利用				事業番号	20
関係市町村	十和田市、小坂町					
内容	施設の維持・更新を含め、簡易水道の共同利用を行う。					
効果	隣接する区域において、同様の施設を個々に補修する重複投資が避けられ、効果的・効率的な簡易水道の運営が図られる。					
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	—————▶					
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
	—————▶					
活用を想定する補助制度等						
特記事項						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標
	現状の体制を維持する

(7) 消費生活

【形成協定】

複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、圏域における広域的な取組を進める。

(甲) 甲が設置する消費生活センターの広域利用を進め、乙と連携して圏域内の消費者相談の充実や消費生活に関する情報の提供・啓発に努める。

(乙) 甲が設置する消費生活センターと連携を図り、圏域内の消費者相談の充実や消費生活に関する情報の提供・啓発に努めるとともに、甲に応分の経費を負担する。

【具体的な事業】

事業名	消費生活相談事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村					
内容	複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、圏域における広域的な取組を進める。					
効果	消費生活相談の広域化を進めることにより、圏域住民の消費生活の安定と向上が図られる。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市及び三沢市 関係町村と連携して、消費生活センターの広域利用を進め、圏域内の消費者相談の充実や消費生活に関する情報の提供・啓発に努める。 ○ 関係町村 十和田市又は三沢市が設置する消費生活センターと連携を図り、圏域内の消費者相談の充実や消費生活に関する情報の提供・啓発に努める。また、十和田市又は三沢市に対し、応分の経費を負担する。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	10,423	10,423	10,423	10,423	10,423	52,115
活用を想定する補助制度等	消費者行政推進事業費					
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。(新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。) 					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28)	目標値 (R4)
		相談件数 (件)	550 件

(7) 消費生活

協定の内容	複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、圏域における広域的な取組を進める。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	消費生活相談事業	事業番号	21			
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村					
内容	十和田市と三沢市に設置する消費生活センターにおいて、消費生活に関する情報提供や注意喚起等の周知・啓発を通じた相談体制の充実を図り、広域利用を推進する。					
効果	複雑化・多様化する消費生活相談への対応が可能となることで、消費生活の安定と向上が図られる。					
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
	13,676	13,676	13,676	13,676	13,676	68,380
活用を想定する補助制度等						
特記事項						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標
	現状の体制を維持する

2. 結びつきやネットワークの強化

(1) 地域公共交通

【形成協定】

圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、地域公共交通の維持・確保や交通施設の整備、多様な交通手段の検討・実証・導入を行う。

(甲)ア 乙と連携して、路線バス等の維持・確保と利用促進に取り組む。

イ 乙と連携して、青い森鉄道の利用促進及び三沢駅関連施設や駅周辺施設の整備を図る。

ウ 乙と連携して、必要に応じ、多様な交通手段の検討・実証・導入等を行う。

(乙)ア 甲と連携して、路線バス等の維持・確保と利用促進に取り組む。

イ 甲と連携して、青い森鉄道の利用促進及び乙に所在する駅の利便性向上を図る。(野辺地町、東北町、おいらせ町)

(甲と連携して、青い森鉄道の利用促進を図る。※上記以外の町村)

ウ 甲と連携して、必要に応じ、多様な交通手段の検討・実証・導入等を行う。

【具体的な事業】

事業名	生活交通路線維持事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村おいらせ町					
内容	<p>○ 圏域内を結ぶ路線バス等の生活路線を維持するため、運行事業者等に対して支援を行う。また、コミュニティバスの利用環境整備及び利用促進に取り組む。</p> <p>○ 公共交通ネットワーク会議において、圏域内の交通施策の課題整理を行うとともに、持続可能な交通網の構築に向けた研究・検討を行う。</p>					
効果	圏域内における公共交通の利便性が確保されることにより、圏域住民が安心して生活できるようになる。					
関係市町村の役割分担	運行事業者等への支援を各自自治体が行う。 また、関係市町村は、コミュニティバスの利用環境整備及び利用促進に取り組む。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	267,720	267,720	267,720	267,720	267,720	1,338,600
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28)	目標値 (R4)
		補助対象となる路線バスシステム数(系統)	30 系統
コミュニティバス利用者数(人)		363,494 人	363,000 人

2. 結びつきやネットワークの強化

(1) 地域公共交通

協定の内容	圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、地域公共交通の維持・確保や交通施設の整備、多様な交通手段の検討・実証・導入を行う。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	生活交通路線維持事業					事業番号	22
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	<p>路線バス運行事業者に対して、圏域内を結ぶ生活交通路線を維持するための支援を行う。</p> <p>コミュニティバス等の運行について検討し、利用環境を整備する。</p> <p>公共交通ネットワーク会議において、圏域内の交通施策の課題整理を行うとともに、持続可能な交通網の構築に向けた検討を行う。</p>						
効果	圏域内の生活交通路線が維持され、住民の移動手段が確保される。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	→	
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		計
活用を想定する補助制度等	570,601	570,601	570,601	570,601	570,601	2,853,005	
特記事項							

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	補助対象となる路線バス系統数	33系統	30系統
	コミュニティバス利用者数	287,010人/年	287,000人/年

事業名	二次交通の整備・充実事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	○ 圏域内の交通拠点となる空港や鉄道駅の二次交通の充実及び利用促進に取り組む。 ○ 公共交通ネットワーク会議において、二次交通の利用環境の整備及び利用促進について、研究・検討を行う。					
効果	圏域内における公共交通の利便性が向上するほか、観光地等へのアクセス手段を確保することにより、交流人口の増加に繋がる。					
関係市町村の役割分担	運行事業者等への支援を各自治体が行う。 また、関係市町村との連携・協力のもと、利用環境の整備及び利用促進について研究・検討を行う。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	12,468	12,468	12,468	12,468	12,468	62,340
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

	指標	現状値 (H28)	目標値 (R4)
重要業績 評価指標 (KPI)	二次交通利用者数 (人)	3,655 人	3,700 人

協定の内容	圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、地域公共交通の維持・確保や交通施設の整備、多様な交通手段の検討・実証・導入を行う。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	二次交通の整備・充実事業					事業番号	23
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	公共交通ネットワーク会議において、利用促進に向けた検討を行い、圏域内の交通拠点となる空港や鉄道駅からの二次交通の充実を図る。						
効果	圏域内における公共交通の利便性が向上するとともに、観光地等へのアクセス手段が確保され、交流人口の増加につながる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	11,341	11,341	11,341	11,341	11,341	56,705	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	二次交通利用者数	1,578人/年	1,600人/年

事業名		青い森鉄道利用促進等事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	青森県、関係市町村及び事業者等の関係機関と連携して、青い森鉄道の各種利用促進活動に取り組む。また、青い森鉄道の利便性向上及び利用環境改善のため、駅関連施設及び駅周辺施設等の整備を図る。						
効果	圏域住民の重要な生活交通手段である青い森鉄道の利用促進及び利便性向上が図られ、圏域における生活交通ネットワークが確保及び維持される。						
関係市町村の役割分担	<p>○ 三沢市 青い森鉄道利活用推進協議会などの関係機関及び関係市町村と連携して、各種利用促進活動に取り組む。また、三沢駅関連施設及び駅周辺施設整備に係る調査・検討等を行い、整備推進を図る。</p> <p>○ 関係市町村 青い森鉄道利活用推進協議会など関係機関及び関係市町村と連携して、各種利用促進活動に取り組み、または協力する。また、駅が所在する関係町においては、駅の利便性向上や利用環境改善のための取組を行う。</p>						
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	—————→						
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計	
	601,847	738,522	3,096	3,096	3,096	1,349,657	
活用を想定する補助制度等							
特記事項	<p>※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※ 青い森鉄道利活用推進協議会構成市町は、同協議会負担金を計上。</p>						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
		青い森鉄道下田駅～野辺地駅乗車人員 (人)	889,298 人

協定の内容	圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、地域公共交通の維持・確保や交通施設の整備、多様な交通手段の検討・実証・導入を行う。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	青い森鉄道利用促進等事業					事業番号	24
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	青森県や関係機関と連携して、青い森鉄道の各種利用促進活動に取り組む。三沢駅関連施設や青い森鉄道の駅周辺施設等の整備を行う。						
効果	圏域の重要な生活交通手段である青い森鉄道の利用促進や利便性向上に取り組むことで、生活交通ネットワークが確保される。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	99	99	99	99	99	495	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	青い森鉄道下田駅～野辺地 駅乗車人員	718,046人/年	718,000人/年

(2) インフラ整備に関する要望活動等

【形成協定】

圏域住民の利便性向上と物流機能向上のため、市町村間を接続する幹線道路の整備促進及び三沢空港の発着路線の拡充等について要望活動等を行う。

- (甲) 乙と連携して、市町村間を接続する幹線道路の整備促進及び三沢空港の発着路線の拡充等について関係機関へ要望活動等を行う。
- (乙) 甲と連携して、市町村間を接続する幹線道路の整備促進及び三沢空港の発着路線の拡充等について関係機関へ要望活動等を行う。

【具体的な事業】

事業名	道路等のインフラ整備に関する要望					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	圏域内の市町村間を繋ぐ幹線道路等のインフラ整備に関する要望活動を圏域として一体的に行う。					
効果	圏域住民の利便性向上及び物流機能向上に資する。					
関係市町村の役割分担	関係市町村が連名の上、要望活動を行う。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。 (新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。)					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
		要望活動実施回数 (回)	1回

(2) インフラ整備に関する要望活動等

協定の内容	圏域住民の利便性向上と物流機能向上のため、市町村間を接続する幹線道路の整備促進及び三沢空港の発着路線の拡充等について要望活動等を行う。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	道路等のインフラ整備に関する要望					事業番号	25
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	圏域内の市町村間を結ぶ幹線道路等のインフラ整備に関する要望活動を一体的に行う。						
効果	利便性向上と物流機能向上につながり、地域振興が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	—————→						
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	要望活動実施回数	1回/年	1回以上/年

事業名	三沢空港振興会事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町					
内容	○ 三沢空港の利便性向上のため、発着路線の拡充など関係機関への要望活動 やプロモーション活動等を実施する。 ○ 需要を喚起するための利用促進活動及びPR活動等を積極的に実施する。					
効果	圏域住民の利便性向上及び物流機能向上に繋がり、地域の振興に寄与する。					
関係市町村 の役割分担	○ 三沢市 事務局として、関係市町村及び関係機関との連絡調整を行う。 ○ 関係市町村 事務局である三沢市と連携・協力して振興会の活動を支援する。					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	2,120	2,120	2,120	2,120	2,120	10,600
活用を想定 する補助制 度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、 毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
		搭乗率 (%)	69.7%

協定の内容	圏域住民の利便性向上と物流機能向上のため、市町村間を接続する幹線道路の整備促進及び三沢空港の発着路線の拡充等について要望活動等を行う。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	三沢空港振興会事業					事業番号	26
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町						
内容	三沢空港の発着路線の拡充に向け、関係機関への要望活動や、需要を喚起するためのプロモーション活動等を実施する。						
効果	利便性向上と物流機能向上につながり、地域振興が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	—————→						
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	搭乗率	46.7%/年	76.5%/年

(3) 公共施設の相互利用

【形成協定】

圏域住民の学習活動、文化活動及びスポーツ活動等の拡充を図るため、圏域市町村が設置する運動施設及び文化・社会教育施設等の相互利用を促進する。

(甲) 甲が所有する公共施設について、甲の住民が負担する使用料との調整を図り、圏域の住民及び団体による利用を促進する。

(乙) 乙が所有する公共施設について、乙の住民が負担する使用料との調整を図り、圏域の住民及び団体による利用を促進する。

【具体的な事業】

事業名		公共施設の相互利用促進事業				
関係市町村	全市町村					
内容	<p>○ 公共施設の相互利用の推進 人口減少が進む中で単一の市町村でフルセットの機能を備えることは極めて困難である。このため、関係市町村の文化・スポーツ施設等のうち、圏域住民が利用する施設と位置づける施設について検討・調整を行い、</p> <p>① 圏域間で施設の利用情報について共有し、 ② 市町村民と市町村外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合には、段階的にその調整を図り、圏域内施設の相互利用促進を図る。</p>					
効果	<p>新たな費用負担を最小限にとどめ、圏域住民のニーズに応じた選択ができ、利用可能な施設が増えることで学習活動、文化活動及びスポーツ活動等の拡充が図られる。</p>					
関係市町村の役割分担	<p>○ 十和田市 圏域内の文化・スポーツ施設等のうち、相互利用の対象とする施設を選定し、</p> <p>① 圏域間で施設の利用情報について共有し、 ② 市町村民と市町村外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合には、段階的にその調整を図り、圏域での相互利用促進を図る。</p> <p>○ 関係町村 関係町村の文化・スポーツ施設等のうち、相互利用の対象とする施設を選定し、</p> <p>① 圏域間で施設の利用情報について共有し、 ② 市町村民と市町村外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合には、段階的にその調整を図り、圏域での相互利用促進を図る。</p>					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	相互利用に向けた調整を行い、整ったものから、段階的に相互利用を推進
	→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。 (新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。)</p>					

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
	相互利用率 (%)	4.6%	5.0%

(3) 公共施設の相互利用

協定の内容	圏域住民の学習活動、文化活動及びスポーツ活動等の拡充を図るため、圏域市町村が設置する運動施設及び文化・社会教育施設等の相互利用を促進する。
-------	---

【具体的な事業】

事業名	公共施設の相互利用促進事業	事業番号	27			
関係市町村	全市町村					
内容	文化・社会教育施設やスポーツ施設等の情報を共有するとともに、使用料や予約方法について段階的に調整を図り、施設の相互利用を促進する。					
効果	住民の利用可能な施設が増えることにより、学習活動や文化活動、スポーツ活動等の振興が図られる。					
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	—————→					
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
	—————→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	相互利用率	8.2%/年	10.0%/年

(4) 文化・芸術

【形成協定】

美術館、記念館等の企画展等の充実に努め、情報発信や集客を図るための事業を効果的に実施し、地域文化の発展及び地域経済の振興を図る。

(甲) 乙と連携して、美術館、記念館等の企画展等の充実に努め、利活用の促進を図る。

(乙) 甲と連携して、美術館、記念館等の企画展等の充実に努め、利活用の促進を図る。

【具体的な事業】

事業名		美術館等入館促進事業					
関係市町村	十和田市、三沢市、七戸町						
内容	十和田市現代美術館、寺山修司記念館、鷹山宇一記念美術館において、相互にポスターやチラシの掲示を行うほか、各種SNSによるPRを行う。						
効果	美術館等の利用率が向上し、住民の文化活動が活性化する。						
関係市町村の役割分担	2市1町が相互に連携して、美術館、記念館等の企画展等の充実に努め、利活用の促進を図る。						
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	→						
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計	
	→						
活用を想定する補助制度等							
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。 (新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。)						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28)	目標値 (R4)
		年間入館者数 (人)	180,393 人

(4) 文化・芸術

協定の内容	美術館、記念館等の企画展等の充実に努め、情報発信や集客を図るための事業を効果的に実施し、地域文化の発展及び地域経済の振興を図る。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	美術館等入館促進事業	事業番号	28			
関係市町村	十和田市、三沢市、七戸町					
内容	十和田市現代美術館、寺山修司記念館、鷹山宇一記念美術館における企画展等のポスターやチラシの相互掲示を行うほか、各種SNSによるPRを実施する。					
効果	美術館等の利用促進や文化活動の振興が図られる。					
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	—————→					
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
	—————→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	入館者数	105,777人/年	185,000人/年

(5) 移住・交流

① 圏域内への移住の促進

【形成協定】

圏域外から圏域内への移住の促進を図るため、連携して移住施策に取り組む。

(甲) 乙と連携して、移住促進に向けた取組を実施する。

(乙) 甲と連携して、移住促進に向けた取組を実施する。

【具体的な事業】

事業名	移住情報の発信・PR事業					
関係市町村	全市町村					
内容	圏域への移住の促進を図るため、圏域の魅力や生活に関する情報などの移住情報を一体的に発信する。					
効果	移住情報を一体的に発信することで、効果的かつ効率的な情報発信が図られ、圏域内への移住の促進に繋がる。					
関係市町村の役割分担	中心市と関係町村が相互に連携して、情報発信を行う。					
事業計画	平成30年度	年度令和元	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。(新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。)					

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H28)	目標値 (R4)
	市町村の移住相談窓口における相談件数(件)	138件	現状値より増加
市町村の支援施策を利用した圏域外からの移住者数(人)	110人	現状値より増加	

(5) 移住・交流

① 圏域内への移住の促進

協定の内容	圏域外から圏域内への移住の促進を図るため、連携して移住施策に取り組む。
-------	-------------------------------------

【具体的な事業】

事業名	移住情報の発信・PR事業					事業番号	29
関係市町村	全市町村						
内容	上十三・十和田湖広域定住自立圏移住・結婚支援推進協議会において、圏域の魅力や生活に関する情報を一体的に発信し、効果的な移住支援に取り組む。						
効果	効果的・効率的に移住情報を発信することで、圏域内への移住が促進される。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	440	440	440	440	440	2,200	
活用を想定する補助制度等	青森県元気な地域づくり支援事業費補助金						
特記事項							

【取組の成果】

	指標	現状値	目標値
重要業績評価指標 (KPI)	市町村の移住相談窓口における相談件数	458 件/年	現状値より増加
	市町村の支援施策を利用した圏域外からの移住者数	293 人/年	現状値より増加

② 結婚活動の支援

【形成協定】

圏域における結婚を希望する独身男女の成婚を促進し、定住人口の増加を図るため、連携して結婚活動支援に取り組む。

(甲) 乙と連携して、圏域の独身男女を対象とした結婚活動支援に取り組む。

(乙) 甲と連携して、圏域の独身男女を対象とした結婚活動支援に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	結婚活動支援事業					
関係市町村	全市町村					
内容	連携して結婚活動支援に取り組み、圏域の結婚を希望する独身男女の成婚を促進し、定住人口の増加を図る。					
効果	圏域の独身男女の結婚活動を支援することで、結婚と出産につながり、定住人口の増加が図られる。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市及び三沢市 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベント、セミナー等の圏域での開催について、関係町村と効果的な実施方法の研究・検討を行い、連携可能なものから実施する。 ・ 結婚支援事業に関する情報を関係町村と共同で発信する。 ○ 関係町村 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベント、セミナー等の圏域での開催について、中心市と効果的な実施方法の研究・検討を行い、連携可能なものから実施する。 ・ 結婚支援事業に関する情報を中心市と共同で発信する。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。(新たな事業費が生じた場合には、毎年度の予算により定める。)</p>					

【取組の成果】

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H27)	目標値 (R4)
	婚姻率	4.3	現状値より増加

② 結婚活動の支援

協定の内容	圏域における結婚を希望する独身男女の成婚を促進し、定住人口の増加を図るため、連携して結婚活動支援に取り組む。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	結婚活動支援事業					事業番号	30
関係市町村	全市町村						
内容	上十三・十和田湖広域定住自立圏移住・結婚支援推進協議会において、青森県や関係機関と連携を図りながら、イベント等の情報を発信し、効果的な結婚活動支援に取り組む。						
効果	結婚活動支援に連携して取り組むことで、成婚が促進され、定住人口の増加につながる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	932	932	932	932	932	4,660	
活用を想定する補助制度等	青森県元気な地域づくり支援事業費補助金						
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	婚姻率	4.3	現状値より増加

③ 圏域内の交流促進

【形成協定】

各種イベント情報等を相互に共有・活用することにより、圏域住民の交流の促進及び圏域の活性化を図る。

- (甲) 乙と連携して、圏域内で実施する各種イベントについて、甲の住民への周知宣伝を行い、相互交流を促進する。
- (乙) 甲と連携して、圏域内で実施する各種イベントについて、乙の住民への周知宣伝を行い、相互交流を促進する。

【具体的な事業】

事業名	イベント交流の促進					
関係市町村	全市町村					
内容	圏域におけるイベント情報や地域資源を共有し、祭りや各種イベント等において周知宣伝活動を行うとともに、相互交流に取り組む。					
効果	各地域でそれぞれ実施しているイベントについて広く圏域で共有し、参加を促すことで、相互交流を促し、圏域の活性化に繋がる。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市及び三沢市 関係市町村が実施する祭りや各種イベント等の情報をとりまとめ、HPや広報紙を活用して周知宣伝活動を行うことにより、相互交流を促進する。 ○ 関係町村 十和田市、三沢市及び関係町村が実施する祭りや各種イベント等の情報をHPや広報誌を活用して周知宣伝活動を行うことにより、相互交流を促進する。 					
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	2,649	2,649	2,649	2,649	2,649	13,245
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。					

【取組の成果】

	指標	現状値 (H28実績)	目標値 (R4)
重要業績 評価指標 (KPI)	各広報誌の「ぐるっとNAVI」に掲載したイベント情報数(件)	543件	600件

③ 圏域内の交流促進

協定の内容	各種イベント情報等を相互に共有・活用することにより、圏域住民の交流の促進及び圏域の活性化を図る。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	イベント交流の促進					事業番号	31
関係市町村	全市町村						
内容	圏域内における各種イベント等の情報や地域資源の共有を図り、周知宣伝活動を行う。						
効果	イベント等への参加を通じ、相互交流の促進と圏域の活性化が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	1,127	1,127	1,127	1,127	1,127	5,635	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	各広報紙の「ぐるっとNAVI」 に掲載した情報数	163件/年	600件/年

(新規)

④ 男女共同参画

協定の内容	男女共同参画社会の形成を推進する取組を連携して行う。
-------	----------------------------

【具体的な事業】

事業名	男女共同参画推進事業					事業番号	32
関係市町村	全市町村						
内容	男女共同参画に関する情報共有とセミナー等の普及啓発活動を実施する。						
効果	学習機会を充実することで、男女共同参画に関する意識の向上が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	462	462	462	462	462	2,310	
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	男女共同参画の実現について意識が高まった人の割合 (セミナー等参加者)	—	80%

3. 圏域マネジメント能力の強化

(1) 圏域内市町村職員の育成

【形成協定】

職員の資質向上と職員間のネットワークを強化するため、合同研修及び人事交流を行う。

- (甲) ア 甲が実施する研修に、圏域内の職員の参加機会を提供する。
 イ 必要に応じて職員の圏域相互派遣を行う。
- (乙) ア 乙が実施する研修に、圏域内の職員の参加機会を提供する。
 イ 必要に応じて職員の圏域相互派遣を行う。

【具体的な事業】

事業名		職員研修交流事業					
関係市町村	全市町村						
内容	各市町村において実施している職員研修に、他の関係市町村の職員を受け入れる。また、必要に応じ、合同で行うことが効率的、効果的とされたテーマについては、合同での研修を企画立案し、実施する。						
効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の資質と能力の向上が期待できる。 ○ 圏域としての一体感の醸成、職員間のネットワークの強化が期待できる。 						
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市及び三沢市 関係町村と連携して、研修事業を行う。また、必要に応じ、合同で実施することが効率的、効果的と認められるテーマについては、合同での研修を企画立案し、実施する。 ○ 関係町村 十和田市及び三沢市と連携して、研修事業を行う。また、必要に応じ、合同で行うことが効率的、効果的と認められるテーマについては、当該研修の企画立案に参加し、職員を参加させる。 						
事業計画	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	—————→						
事業費 (千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計	
	1,264	1,264	1,264	1,264	1,264	6,320	
活用を想定する補助制度等	行政経営推進プラン強化促進事業助成金						
特記事項	※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (H25~27 平均実績)	目標値 (R4)
		広域参加人数 (人)	70 人

3. 圏域マネジメント能力の強化

(1) 圏域内市町村職員の育成

協定の内容	職員の資質向上と職員間のネットワークを強化するため、合同研修及び人事交流を行う。
-------	--

【具体的な事業】

事業名	職員交流事業	事業番号	33			
関係市町村	全市町村					
内容	各市町村が実施する研修への職員の受け入れや、合同研修を実施する。関係市町村において協議し、職員の派遣や人事交流の検討を行う。					
効果	職員の資質と能力の向上につながる研修を効果的・効率的に実施できることに加え、職員間のネットワークの強化が図られる。					
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	—————▶					
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
	—————▶					
活用を想定する補助制度等						
特記事項						

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	広域参加人数	未実施	70人/年

事業名		職員人事交流事業				
関係市町村	全市町村					
内容	関係市町村において協議の上、必要に応じて職員の相互交流（派遣）を行う。					
効果	圏域内の他市町村の優れた施設や行政運営を実地で学ぶとともに、異なる視点から地域を捉える等、視野を広げ、多角的な視点を養う。また、各自治体職員間の連携を促進する。					
関係市町村の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十和田市及び三沢市 関係町村と連携して、職員の相互交流（派遣）の検討を行う。 ○ 関係町村 十和田市及び三沢市と連携して、職員の相互交流（派遣）の検討を行う。 					
事業計画	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
	—————→					
事業費 (千円)	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	計
	—————→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※ 事業費は、現時点における関係市町村の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※ なお、事業費が明確ではないものについては、「→」を記載している。 (新たな事業費が生じた場合には、毎年度の 予算により定める。)</p>					

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (K P I)	指標

(統合)

(新規)

(2) デジタル化

協定の内容	デジタル化推進体制の充実を図るため、情報システムに関する調査・研究を行う。
-------	---------------------------------------

【具体的な事業】

事業名	デジタル化推進体制の充実事業					事業番号	34
関係市町村	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村 おいらせ町						
内容	自治体情報システムの標準化やAI・RPAの活用等について、意見交換等を行う。						
効果	職員の情報システムに関する知識が向上することで、デジタル化推進体制の充実が図られる。						
事業計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	—————→						
事業費 (千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計	
	—————→						
活用を想定する補助制度等							
特記事項							

【取組の成果】

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値	目標値
	意見交換等実施回数	1回/年	2回/年